

令和7年3月17日（月曜日）

予算決算委員会新市立高等学校設置分科会

議会会議室

出席委員

竹中隆一、蔭山敏明、白井義一、西本眞造、
山口 悟、石堂大輔、萩原唯典、大西陽介、
妻鹿幸二、牧野圭輔、金内義和、谷川真由美

【新市立高等学校設置特別委員会の審査】

開会

10時47分

教育委員会

10時47分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和7年度姫路市一般会計予算
- ・議案第12号 令和6年度姫路市一般会計補正予算
(第9回)

質疑

10時52分

(質問)

用地取得事業費に計上されている37億1,480万円が
旧市場跡地の取得費用なのか。

(答弁)

そのとおりである。手続に必要な経費も含まれてい
るが、ほとんどが公有財産購入費である。

(質問)

令和7年度の予算でどれくらいの土地の取得を予定
しているのか。令和6年度の進捗状況と併せて説明し
てもらいたい。

(答弁)

令和6年度は補正予算を合わせて地権者の約18%か
ら土地を取得する費用を計上しており、令和7年度予
算ではそれ以外の全ての地権者との交渉を行うもの
である。

(質問)

以前の分科会で用地取得の総額は約45億円と説明
があったが、その金額に変更はないのか。

(答弁)

当初に予定した金額のとおりである。

(質問)

令和7年9月までには旧市場の解体が完了すると思
うが、それまでは借地料を支払うのか。

(答弁)

用地取得に向けた契約が令和7年9月末の始期つき
となっている相手方に対しては、支払うこととなる。

(質問)

令和7年度中に全ての土地を取得できる見通しは立
っているのか。

(答弁)

全ての土地の取得を目指して鋭意交渉中である。

(質問)

借地料の算定に際しては市場全体を一団の土地と
して不動産鑑定評価を行っていたと認識しているが、
用地取得に際してはどのように評価を行っているの
か。

(答弁)

個別の評価方法については回答を差し控えたい。

(質問)

個々の土地に対して鑑定評価を行っているのか。

(答弁)

個々に鑑定評価を行っているわけではなく、標準的
な土地の価格を算出したものに基づいているが、実際
の評価内容については、個別の契約に関わってくるた
め、回答を差し控えたい。

(質問)

その評価方法は一般的な方法であるのか。

(答弁)

土地の評価に際しては、一般論としてそれぞれの土
地の所在や利用状況によって影響を受けることはあ
るものと認識している。

(質問)

一団の土地としての評価ではなく、標準的な土地に
基づいて評価を行う方法は市からの提案だったのか。

(答弁)

市から地権者に対して金額を提示し、交渉を行って
いるものである。

(質問)

市立高校に鍵付きのロッカーは設置されているの
か。

(答弁)

姫路高校では設置しており、新設校でも使用でき
るものである。

(質問)

繰越明許費の1億3,590万5,000円について、契約後

所有権移転まで時間がかかるとのことだが、契約はいつ締結したのか。

(答弁)

令和6年度中に契約を締結したが、令和7年3月末の始期付きの契約となっているため、登記手続きが4月以降となるものである。

教育委員会終了

11時05分

【新市立高等学校設置特別委員会の再審査】

意見取りまとめ

11時06分

- ・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

11時07分

閉会

11時07分